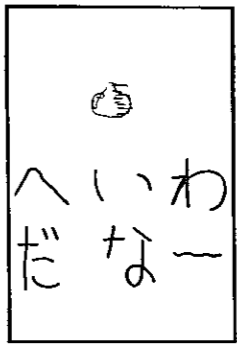


# イラスト倶楽部

イラストはがきには黒一色ではつきりと、薄い鉛筆書きはホツにします。  
 ◆ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を送呈。  
 ◆締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。  
 ◆あて先 〒950-12 白根市大字白根1-2-35 白根市役所広報しろねイラスト係



▲P.N 皆川美幸さん (根岸)

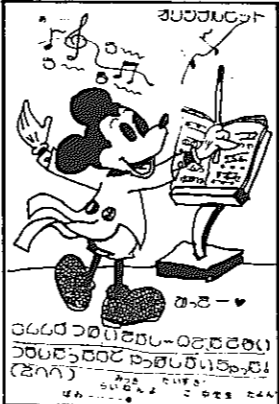


▲P.N 味頭巾さん (能登)



▼P.N でんでろり〜んさん (七軒)

最近タテ書きが圧倒的に多い。ヨコ書きも送ってね。



▼P.N 望川洋子さん

## 広報クイズ QUIZ GAME

〔応募方法〕 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係(〒950-12 白根市大字白根1-2-35)へ。締め切りは6月16日(金)。(必着) 正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

### 問題

①平成6年白根署管内での交通事故発生件数は?  
 (ヒント115ページ)

②白根大火が発生したのは、今から何年前のことでしょう?  
 (ヒント110ページ)

③今年度の成人式、新成人として新たな門出を迎えたのは何人?  
 (ヒント111ページ)

〔当選おめでとう〕 先月の正解は①A②B③Aでした。〔図書券〕梅沢重矢子(東町) 斉藤由希(大通南) 金子康子(七軒町) 佐藤智美(新生町) 小林賢(浦梨) 〔自然科学館招待券〕小林歩美(上塩俵) 金子朝美(新生町) 中井孝美(大通南)

### 今月のハガキから

○少し前に犬が乳幼児をかみ殺す事件が続きました。これから暖かくなると外出の機会が多くなります。犬や猫を飼っている人は「自分のところは大丈夫」と安心してはいけません。犬や猫の苦手な人にとっては怖いもの。飼主の方たちには気を付けてほしいです。(A)  
 ○先日行われた市議会議員選挙で全国ニュースでも白根市の名前が出ていましたね。しかし、いつも「しらねし」という読み方で正しく「しらね」と伝えている人は少なかったです。大風合戦の時期もよく「しらね」と言われてしまいます。知名度が低いということでしょうか。残念です。(K)

## 市民文芸

### 俳句

春愁やオレンジ色の月重し 堀内十子  
 農業を継ぐを祝はれ卒業す 五十嵐寛吾  
 畑を打ったつぶり肥料ほどこして 山口 初野  
 ねちねみさし春愁のオルゴール 公條 雪夫  
 泥上げて浸す種稲用水路 知野信一郎  
 地耕へしてあり種を買って来し 成沢 素明  
 雪形を見せて米山笑ひをり 猪股 南魚  
 春灯の川面に揺れて洞みをり 細貝 漢子  
 春雨やハウスの中は茶飲み会 雷櫻 保子  
 奥津城に寂の一字や犬ふぐり 田部 余白  
 (以上大風念)  
 花菖風にむづかる屋敷畑 間島きよ子  
 鳴く蛙生半可ではなかりけり 山田 栄一  
 花菖村に嫁この来る話 真島つぎえ  
 プランタの日なたになれて花菖 知野信一郎  
 鳥除けのテープ早やばや花菖 小林 なお  
 鳴くことに疲れを知らず登蛙 小林富沙子  
 片言の子の掌のぬくし花菖 金子 千代  
 すでに実の尖りのわかる花菖 田中美根子  
 樹々の風地を渉る風花菖 丸山 虚秋  
 牛蛙鳴く田の水の無表情 間島 秀穂  
 (以上かまつか新飯田俳句会)  
**短歌**  
 閑雲の進めば集う人満ちて 遠報毎に熱くどよめく 田中 恭子  
 携えて歩む幼児掌を解きて 雪の泥濘強いて踏みゆく 木川 久子  
 我が庭の檜葉のみどりに菓される 香いの鳩の呼べばふりむく 大旗 イツ  
 弾き込みし自信いだけばステージに 見慣れし人の顔も目に入る(大正琴演奏会) 阿部 テイ  
 雑森に春の陽させば紫陽花の くれなゐの芽のほぐれんとす 星 ハツノ  
 (以上星芒の念)  
 亡き夫の使いしバレット額に入れ 絵画の如しと眺め居る日々 綴 淑子  
 人生上華しさありて幸運に 長寿の花よ時ぞ散るらん 長谷川久二  
**川柳**  
 忍耐が足りぬと叱る雪椿 後藤マサノ  
 噴水の乱舞にダブル亡夫の顔 佐藤 ヨキ  
 紫陽花の彩の深さが画かれず 西条 ムラ  
 流るたび地震が恐い跨線橋 大谷 龍吉  
 健康を財産にして老いの日日 早川 英男  
 生き甲斐を改めて知るポランティア 山岡 フミ  
 老兵の記憶に残る雪椿 田村 恒夫  
 噴水の前でドラマの幕があく 吉川 彰  
 生活の知恵で生まれてきた雁木 織田 セツ  
 雁木の中で男の肩が重くなる 織田 福治  
 バイバイと涙も潤れる跨線橋 佐藤トミノ  
 過労の証し手帳が真っ黒い 今井 七郎  
 汗かかぬ鉄でテブカットする 中村 尚治  
 血液が風型となる白根もん 高橋祐四雄  
 (以上白根文芸川柳会)

## Talk & Talk

# 市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただくこともあります。あて先は広報広聴係(〒950-12 白根市大字白根1-2-35 白根市役所企画財政課)です。

## 花のあと



小林キミイ (諏訪木5)

先日の新潟日報抄で「花ちらし」、「花なだめ」という言葉を知った。前者は咲き誇る花を散らす雨。後者は二三日咲かせたくないときに降る雨とあった。このような言葉に日本語の粋や美しさを感じた。

今日は統一地方選挙最後の市議会議員選挙の投票日。一週間の街宣車の騒々しさから解放され、天候にはぐくまれて春らんまん咲く桜の花も終わりを告げ、葉桜に柔らかな春の雨が降り注ぎ、静かな日曜の朝を迎えた。普段は静かな一人暮らしの私も、ここ数週間支持する候補者の応援に心を砕いてきた(と言っても足を痛む私には何ほどのこともできないけれど)。旅に出る友に不在者



## 高齢化社会をどう支える



青木きよ子 (大通1丁目)

新潟県民会館で「健康なまちづくり」シンポジウムが開催された。医事評論家行天良雄氏の「これからの国保」の講演は、高齢化社会へ加速を続ける日本の現状認識、転換期を迎えた医療へのについてのとも興味深いお話しだった。シンポジウムには、県内各地の市町村関係者が大勢出席された。新発田市長、紫雲寺町長、守門村の保健婦さんたちが提言し、厚生省、新潟日報社、県医務課の助言指導があった。

けしよ検診に力を入れているとか。守門村の保健婦は「ごうたれ保健婦」の異名で住民の意識を変化させた。「百歳までガン、寝たきり、ばけにならないよう予防を」の合い言葉で住民の都合に合わせて、昼夜を問わず村中を歩き、住民の声を聞きながら。予防の盛り上がりを見守り、医療費の抑制、国保負担の軽減など保健婦二人で頑張った体験を土くさい方言でみんなを笑いの渦に巻き込みながら共感を得ていた。

新発田市は国から健康文化都市のモデル都市として指定を受け、国際健康文化センターを建設。また、隣人の介護に参加できるように「ふれあい学院」でホームヘルパーを養成するなど、世界に誇れる福祉社会の実現を目指しているとのこと。

